

令和5年度 事業報告書

自 令和5年(2023年)4月1日

至 令和6年(2024年)3月31日

I. 概要

令和6年元旦に発生した能登沖地震では被害に遭遇された方々に哀悼の意と、普段の生活に戻られることを切に願っております。災害から5か月が経過し、政府・地方行政・ボランティアの方々のご支援により鉄道・道路整備などがなされてきておりますが、あらためて我が国は地震列島、日ごろの備えが重要であることを認識させられた。

一方、世界では変わらず地政学の問題、宗教・イデオロギーの違いによる紛争が現実問題として存在し、さらにはサイバーテロによる情報戦・心理戦も加わり、自然災害、環境エネルギー問題、物流問題対応等々厳しい環境下にあるが、当会が扱う双眼鏡・望遠鏡などはコンシューマー市場向けの回復、防衛防犯を含む業務用途に期待がかかる。

主力のプリズム式双眼鏡の日本からの輸出(出所:2023年財務省輸出入統計、直送含まず)は、数量で約8万個、金額では26億円(前年34億円、平均単価は約3.4万円)、対前年比数量は28%減、金額では24%減であった。仕向け地別輸出金額上位5ヶ国の金額順及び平均単価・シェア(カッコ内)は、①米国14.3億円(4.2万円、55%)、②ドイツ6.4億円(3.2万円、25%)、③オランダ0.8億円(4.3万円、3%)、④サウジアラビア0.7億円(0.6万円、3%)、⑤オーストラリア0.6億円(5.4万円、2%)、上位5か国で昨年同様の約9割(前年9割)であった。

ISO国際会議及び国内委員会、JIS原案作成委員会は、対面とリアルハイブリッドにて対応した。イベント出展では8月の経済産業省こどもデーに2018年・2019年以来4年ぶりに対面での参加となった。また、11月のジャパンバードフェスティバルには、会場が水の館に戻り3階と芝生広場(天体望遠鏡による太陽黒点観測)に出展し、双眼鏡・望遠鏡の見方・使い方は来場者に喜ばれた。双眼鏡の対物レンズと接眼レンズを組み合わせるとガリレイ式望遠鏡になるレンズ販売にも人気があった。令和6年2月のCP+2024は参加を見送った。

令和5年度の当工業会各事業の具体的内容について、以下の通り報告する。

II. 事業報告

1. 会議

1.1 **第47回通常総会:** 令和5年5月19日(金)、池袋東京セミナー学院にて開催した結果、第6号議案の事務所売却を除き承認された。なお、懇親会は同会場において実施した。

【議案】

- 第1号議案: 議事録署名人選任の件
- 第2号議案: 理事辞任に伴う後任理事選任の件
- 第3号議案: 定款の一部変更の件
- 第4号議案: 令和4年度事業報告書及び決算報告書承認の件
- 第5号議案: 令和5年度事業計画承認の件
- 第6号議案: 令和5年度会費の額及びその納入方法承認の件
- 第7号議案: 令和5年度収支予算書承認の件
- 第8号議案: 事務所売却の件

1.2 賀詞交歓会は令和6年1月13日(金)4年ぶりに開催した。

1.3 理事会:新公益法人改革の法律及び定款にもとづき、継続事業報告を実施し進捗を確認した。また、工業会の存続のための審議を進めた。

- ①令和5年5月11日(木):第47回通常総会議案審議(令和4年度事業報告&収支決算書)、他。
- ②令和5年8月23日(水):事業状況報告及び正会員向けのアンケート実施の件。
- ③令和5年11月22日(水):アンケート結果、及び工業会の今後に関する会長提案の件と会長代行の件。
- ④令和6年1月12日(金):大野会長代行による今後の進め方に関する件。
- ⑤令和6年3月27日(水):令和5年度事業計画&収支予算書・会費の額見直しについて。

1.4 総務広報委員会:諸般の事情により開催は見送られた。

1.5 技術委員会:諸般の事情により開催は見送られた。

1.6 業界活性化委員会:諸般の事情により開催は見送られた。

2. 会員入退会情報(令和6年3月31日付)

2.1 正会員数28社(2社減):株式会社ニコン、株式会社五藤光学研究所

3. 「双眼鏡・望遠鏡歴史展示室関連」:寄贈品・寄託品は特になし。

4. 継続事業報告

4.2 ホームページ関連事業

令和4年度事業報告・収支報告、及び令和5年度事業計画・収支予算書(6月)、財務省統計(3ヶ月毎更新)、イベント関連(経産省こどもデー&JBF2023)、検査工具機器在庫情報の更新、役員名簿、会員情報の更新をおこなった。

4.3 イベント関連事業

4.3.1 経済産業省こどもデー2023

8月2日・3日、4年振りに対面での開催となり以前と同じく地下講堂(壇上)に出展配置がなされ、野鳥・天体パネルなどを対象に双眼鏡・望遠鏡の使い方・見方を通じて入門者とご父兄に親しんでいただけた。

4.3.2 野鳥関係 ジャパンバードフェスティバル(JBF2023)

本年度は4年振りに水の館に戻り工業会ブースは3階では、野鳥の会推薦の双眼鏡を使った使い方教室のほか、単眼鏡・仕組みが分かる望遠鏡、カットモデルによる構造理解、さらにはレンズの販売も人気が高かった。また、芝生広場では太陽の黒点観測やフレアー観測もおこない多くの来場者と交流できた。

会期:令和5年11月4日(土)~5日(日)、

会場:千葉県我孫子市水の館、山科鳥類研究所、鳥の博物館、アビスタほか

主催:ジャパンバードフェスティバル実行委員会(事務局は我孫子市)

実行委員会(対面開催):令和5年4月19日、7月5日、8月16日、10月4日、11月21日、2月14日

4.3.2 CP+2024への出展は諸般の事情により参加を見送った。

4.4 調査広報事業

4.4.1 公式発表されている財務省関税局輸出入通関統計(双眼鏡、単眼鏡、ライフルスコープ等)をホームページに掲載すると共に会員向けには会報内に前月比など他を継続中。なお、会員企業による自主統計は継続中。

4.4.2 イベント案内:ホームページに掲載すると共に会員向けには会報(電子メール)にてお知らせした。

4.4.3 通常総会にて承認後、ホームページに事業報告・収支決算書、事業計画・収支予算書を掲載した。

4.5 関連団体提携事業

4.5.1 軽機械センター運営協議会への参画事業:中国・欧州情報収集

・①令和5年7月13日(金)CiscoWebexによる幹事会に出席した。令和5年度決算書を審議し承認された。
・経産省・安田課長ご挨拶があった。

②令和6年2月29日(木)CiscoWebexによる幹事会に出席した。令和6年度予算書審議し承認された。

・経産省・安田課長ご挨拶、北京駐在の吉池代表による講演を聴講した。

・会員構成:ビジネス機械・情報システム産業協会、日本機械輸出組合、JETRO、日本時計協会、カメラ映像機器工業会、日本縫製機械工業会、日本望遠鏡工業会

4.5.2 日本光学工業協会への事業運営参加 於:機械振興会館

・国際標準化規格、JIS関連、技能検定等々、TC172活動報告の発行

6月15日(木)役員会(事業報告&会計報告、事業計画&収支予算書)に出席した。

令和6年2月16日(金)、ISO/JIS業務移管に関する打合せをおこなった。

・会員構成:日本顕微鏡工業会、日本光学測定機器工業会、日本医用光学機器工業会、(一社)カメラ映像機器工業会、(一社)日本測量機器工業会、(一社)日本写真映像用品工業会、(一社)日本望遠鏡工業会

4.5.3 (一社)日本写真映像用品工業会との業務提携:情報共有をおこなった。

- ・ 6月6日(火)Photonext2023を見学した。於:パシフィコ横浜
12月14日(木)定時総会に出席した。懇親会は欠席。
令和6年2月19日(月)情報交換の打合せをおこなった。
令和6年2月23日(金)CP+2024会場ブースを訪問し、情報交換した。

4.5.4 (一社)天体望遠鏡博物館(四国東さぬき市)との業務提携

- ・ 活動報告(博物館便り)を会員代表者あてに情報共有として配信した。

4.5.5 日本天文協議会(2010年9月9日発足)への参画:平成28年(2016年)2月18日付で入会。

- ・ 令和5年度(2023年度)は特別な活動、会議はなかった。
- ・ 日本天文協議会(抜粋):世界天文年2009の成果を引き継ぎ、日本の天文研究、普及・アマチュアが一体となって、天文と科学の理解を日本の社会に広げるための合同組織(会長:渡辺潤一 副会長)。
- ・ 会員構成:日本天文学会、自然科学研究機構 国立天文台、宇宙航空研究開発機構、天文教育普及研究会、日本プラネタリウム協議会、日本公開天文台協会、日本天文愛好者連絡会、星空を守る会、日本望遠鏡工業会

4.6 経営環境関連事業

4.6.1 研修会開催事業(技術委員会主催):諸般の事情により開催は見送られた。

4.6.2 部会活動事業(業界活性化委員会):諸般の事情により開催は見送られた。

4.6.3 リモート会議用としてZoomを1年契約を更新中(理事会、JIS原案作成委員会)。

5. 検査・測定機器

5.1 検査校正:合計48件(令和4年度48件、令和3年度44件、令和2年度42件)

内訳:双眼鏡試験(1件)、検定・校正(視度32件、光軸4件、他3件)、分光透過率貸出(6件)、証明書発行1件、修理部品販売1件

5.2 検査器具販売:合計92件(令和4年度77件、令和3年度69件)

内訳:視度望遠鏡88本、ハロゲンランプ3個、倍率標板1枚。

6. 行政府機関等への調査協力

6.1 経済産業省産業機械課:セーフティネット保証5号、分類番号2751:顕微鏡・望遠鏡
主力のプリズム式双眼鏡に関して、自主統計(協力企業)をもとに生産金額のデータ提出を継続中。

6.2 東京都産業労働局商工部経営支援課:東京都概要調及び業種別動向調査、11月10日回答済み。
動向調査期間:令和4年10月~令和5年9月、概要調:令和5年10月末。

4.1 国際標準化規格関連事業 ISO/TC172/SC4 望遠鏡 (Telescopic Systems)

4.1.1 議長：Dr. Daniel Rotter (オーストリア, 2024 年末までの任期)

事務局：DIN, Ms. Dipl.-Ing. (FH) Petra Bischoff (ドイツ)

作業グループ：WG2 (Telescopic devices (望遠装置)) が活動中。

P メンバー (10ヶ国)：オーストリア、中国、ドイツ、日本、韓国、ナイジェリア、ルーマニア、ロシア、イギリス、アメリカ

O メンバー (9ヶ国)：クロアチア、フランス、オランダ、フィリピン、ポーランド、サウジアラビア、スロバキア、スペイン、スイス

1. 活動内容と総括

TC172/SC4 は、「光学及びフォトンクス関連の分野のうち、望遠鏡の用語、性能特性、試験方法における規格」を制定する技術委員会であり、1992年10月にサンクトペテルブルグで開かれた第1回国際会議でSC4の活動が始まり、これまでに22件の規格が審議・制定・改正されてきた。またSC1から1件の規格が移管されており、合計23件を所掌している。詳細は5. の項目を参照のこと。昨年以降新たに発行あるいは改定された規格はない。

参加国は2024年4月現在でPメンバー10ヶ国、Oメンバー9カ国であり、オランダがOメンバーに加わった。そのうち、国際会議に継続的に参加し議論しているのは、ドイツ、オーストリア、ルーマニア、アメリカ、日本の5カ国である。

議長、事務局は当初ロシアだったが、現在は議長オーストリア、事務局DIN(ドイツ)となっている。

現在、ライフルスコープ、ナイトビジョン関係の用語、特性、試験方法の規格の改正等が提案からDISの各段階で検討されており、今後も議論に参加してゆく。

そのほか、発行済みの規格については、見直しまたは改正が進められており、SC4国内委員会は、投票やコメントはもとより、これらの作業や審議に積極的に関わり、検討・討議を行なっている。また、必要に応じてこれらのISOをもとにJIS原案を作成し提案している。

4.1.2 SC4国内委員会活動経過 (2023.4~2024.3)

(1) 活動概要

- ・ 2023年度中に、SC4国際会議1回(対面+Zoom)、及びWG2国際会議2回(Zoom1回、対面+Zoom1回)が開催され、議論に参加した。国内委員会は1回開催した。
- ・ ISO投票は5件(CD1件、DIS無し、FDIS無し、SR1件*、CIB3件)投票した。*現在SR1件は投票期間中。
- ・ ISO規格では、発行済みの23件を所掌している。なお、改正以外の理由で廃止された規格は無い。
- ・ JISでは、JIS B 7121 双眼鏡、単眼鏡及びスポッティングスコープの仕様について、JSA公募制度(2022年度区分C)によりJIS改正原案作成委員会を設置し、ISO 14133-1:2016, ISO 14133-2:2016を基に2022年10月から2023年5月にかけて審議を行い、2024年1月21日にJIS B 7121:2024として発行(改正)された。

4.1.3 (2) 会議

2024年1月12日 [ISOTC172SC4国内委員会]

- 2023年11月のISOTC172SC4(+WG2)国際会議の報告
- JIS見直しについて、ライフルスコープの国際規格改正への対応の必要性を確認。
その他、ISO投票等について、随時メール審議を行った。

4.1.4 (3) ISO 投票

2023 年

- 9 月 [CIB 投票及び結果] (JISC の投票は下線部)
- WG2 のコンビーナについて
(不切 9/14、賛成 8、棄権 2) Approved

2024 年

- 1 月 [CIB 投票及び結果] (JISC の投票は下線部)
- 11 月の国際会議の決議事項のアップデート
(不切 1/5、賛成 6、棄権 4) Approved
- 2 月 [CIB 投票及び結果] (JISC の投票は下線部)
- 2024 年の国際会議日程について(アンケート)
(不切 2/14、参加 5、欠席又は未定 5)
- 3 月 [CD 投票及び結果] (JISC の投票は下線部)
- CD14133 案へのコメント招請
(不切 3/26、コメント無し 8、コメント有り 1、棄権 1)

参考

- 6 月 [SR 投票及び結果] (JISC の投票は下線部)
- 14490-8 ナイトビジョン試験方法の SR
(不切 6/3、確認、要修正、棄権)

4.1.5 これまでに日本で原案を作成した規格

ISO 14132-4 望遠鏡用語 (第 4 部:天体望遠鏡)

ISO 14134 天体望遠鏡特性 (一般品と高性能品の 2 規格を統一)

ISO 14490-4 望遠鏡試験方法 (第 4 部:天体望遠鏡)

4.1.6 今後の国際会議予定

TC172/SC4/WG2 国際会議が 2023 年 6 月 21 日に Zoom 会議にて、また、TC172/SC4 及び同 WG2 国際会議が 2023 年 11 月 9 日にベルリン(独) (対面+Zoom) で開催された。日本からも 2 名参加した。(別項の各会議報告を参照)

今後の予定として、2024 年 5 月 23 日に SC4/WG2 の Zoom 会議、同年 11 月ころに Boulder (USA) で SC4 (+WG2) の会議(対面)が予定されている。

4.1.7 規格の審議状況は別紙を参照願います。